

\* 赤字の単元は、理科室を使用する単元です。

北日本地方の気候に合わせて  
時期を移動した単元

ほかの単元の時期を移動したことによって  
時期が変わった単元

地域や学校の実態に応じて  
並行して行うことが考えられる単元

# 3年

3学期制	2学期制	月	単元名	配当時間	
				実質	法定
1学期 [32] (34)	前期 [40] (42)	4月 [7]	1. しぜんのかんざつ	[4]	(4)
		5月 [9]	2. 植物の育ち方① たねまき	[6]	(6)
			7. 地面のようすと太陽	[9]	(10)
		6月 [9]	3. こん虫の育ち方	[10]	(10)
				◎ 植物の育ち方② 葉がふえたころ	[1]
		7月 [7]	◎ 植物の育ち方③ 花	[2]	(2)
			◎ 自由研究	[0]	(1)
	2学期 [37] (39)	9月 [8]	6. 動物のすみか	[4]	(5)
			◎ 植物の育ち方④ 花がさいた後	[4]	(4)
		10月 [11]	8. 太陽の光	[7]	(7)
			4. ゴムと風の力のはたらき	[7]	(7)
		11月 [11]	5. 音のふしぎ	[6]	(6)
			9. 電気の通り道	[9]	(9)
		後期 [46] (48)	12月 [7]	10. じしゃくのふしぎ	[8]
11. ものの重さ	[6]		(6)		
3学期 [17] (17)	1月 [5]	◎ おもちゃショーを開こう!	[3]	(3)	
	2月 [8]				
	3月 [4]				
合計				[86]	(90)

# 4年

3学期制	2学期制	月	単元名	配当時間	
				実質	法定
1学期 [37] (39)	前期 [50] (53)	4月 [8]	◎ 季節と生物① 春の始まり	[1]	(1)
		5月 [10]	1. 天気と気温	[7]	(7)
			2. 季節と生物② 春	[7]	(7)
		6月 [11]	3. 電池のはたらき	[8]	(9)
			4. とじこめた空気や水	[6]	(6)
		7月 [8]	◎ 季節と生物③ 夏	[5]	(5)
			◎ 星や月① 星の明るさや色	[3]	(3)
	2学期 [41] (44)	9月 [10]	◎ 自由研究	[0]	(1)
			◎ 自由研究	[0]	(1)
		10月 [12]	◎ 季節と生物④ 夏の終わり	[3]	(3)
			5. 雨水のゆくえ	[10]	(10)
		11月 [11]	6. 星や月② 月と星の位置の変化	[8]	(8)
			◎ 季節と生物⑤ 秋	[3]	(3)
		後期 [50] (52)	7. わたしたちの体と運動	[8]	(9)
8. ものの温度と体積	[7]		(8)		
3学期 [22] (22)	12月 [8]	◎ 星や月③ 冬の星	[2]	(2)	
	1月 [6]	◎ 季節と生物⑥ 冬	[5]	(5)	
	2月 [9]	9. もののあたたまり方	[8]	(8)	
3月 [7]	10. すがたを変える水	[8]	(8)		
	◎ 季節と生物⑦ 春のおとずれ	[1]	(1)		
合計				[100]	(105)

特徴

**3年**：「ものの重さ」の単元は、素材に着目して学習するため、金属・非金属、鉄・鉄でない金属を扱う「電気の通り道」や「じしゃくのふしぎ」の後に学習するようにしています。  
**4年**：「雨水のゆくえ」の単元に「水の自然蒸発と結露」の学習内容もあります。

# 5年

3学期制	2学期制	月	単元名	配当時間		
				実質	法定	
1学期 [32] (38)	前期 [39] (46)	4月 [7]	1. 天気と情報① 天気の変化	[9]	(10)	
		5月 [9]	2. 生命のつながり① 植物の発芽と成長	[11]	(13)	
			3. 生命のつながり② メダカのたんじょう	[8]	(10)	
		7月 [7]	4. 天気と情報② 台風と防災	[4]	(4)	
			◎ 自由研究	[0]	(1)	
		2学期 [40] (45)	9月 [9]	◎ 自由研究	[0]	(1)
				5. 生命のつながり③ 植物の実や種子のでき方	[7]	(7)
	10月 [11]		6. 流れる水のはたらきと 土地の変化	[12]	(14)	
			7. もののとけ方	[12]	(13)	
	後期 [52] (59)		12月 [8]	8. ふりこの性質	[9]	(10)
			1月 [6]	9. 電磁石の性質	[11]	(12)
	3学期 [19] (22)		2月 [8]	10. 生命のつながり④ 人のたんじょう	[8]	(9)
		3月 [5]	◎ 6年の学習の準備	[0]	(1)	
		合計				[91]

特徴

**5年**：夏休み前に「台風と防災」の単元で防災の学習ができます。  
**6年**：プログラミング教材を使った学習は、6年「私たちの生活と電気」で行います。

# 6年

3学期制	2学期制	月	単元名	配当時間		
				実質	法定	
1学期 [37] (42)	前期 [44] (51)	4月 [7]	◎ 私たちの生活と環境 ◎ 学習の準備	[0]	(1) (0)	
		5月 [10]	1. ものの燃え方	[9]	(9)	
			3. 人やほかの動物の 体のつくりとはたらき	[10]	(12)	
		6月 [12]	2. 植物の体のつくりと はたらき ①日光との関わり	[5]	(5)	
			4. 植物の体のつくりと はたらき ②水との関わり	[5]	(5)	
		7月 [8]	5. 生物と地球環境	[8]	(9)	
			◎ 自由研究	[0]	(1)	
	2学期 [40] (45)	9月 [9]	◎ 自由研究	[0]	(1)	
			6. 月と太陽	[7]	(8)	
		10月 [11]	8. 土地のつくりと変化	[12]	(13)	
			7. 水よう液の性質	[11]	(12)	
		後期 [50] (54)	12月 [8]	9. てこのはたらき	[10]	(11)
			1月 [6]	10. 私たちの生活と電気	[10]	(11)
		3学期 [17] (18)	2月 [8]	11. かけがえのない 地球環境	[7]	(7)
3月 [3]						
合計				[94]	(105)	

## 3年

3学期制	2学期制	月	単元名	留意点	配当時間		
					実質	法定	
1学期 [32] (34)	前期 [40] (42)	4月 [7]	1. しぜんのかんざつ		[4]	(4)	
		5月 [9]	2. 植物の育ち方① たねまき	・近年は季節が早まり、4月も暖かくなってきている。その年の気温の状況を見ながら種まきを行う。 ・夏休み前に花の観察が終えられるよう、計画的に種をまく。種まき後に気温が上がらない場合は、室内で育てたり、ビニルトンネルなどで防寒対策を施したりする。マルチやペットボトルを半分に切ったものをかぶせても温室効果がある。	[6]	(6)	
			7. 地面のようすと太陽	・10月後半の実施では学習内容に適さない天気や気温となることも少なくなく、また日差しも弱いため、「4. ゴムと風の力のはたらき」と入れ替えて5月に行うとよい。 ・地面の暖かさの違い(手ざわり調べ)は、地面の温度が上がる4枚時目くらいに実施するとよい。	[9]	(10)	
		6月 [9]	3. こん虫の育ち方	・モンシロチョウなどの昆虫の飼育は、食草(キャベツ・アブラナ等)の大きくなる6月頃に行う。また、アゲハ・モンキチョウなども、食草(カラタチ・セリ等)が大きく伸びてくる時期であり、発見しやすく、一人一飼育をめざすことができる。 ・前年からキャベツを栽培しておくことが望ましいが、うまくいかない場合も多い。そのような場合は、キャベツの苗を購入しプランターなどに植えておくことで、モンシロチョウの産卵の確率が高くなる。植木鉢であれば、そのまま教室で観察可能である。	[10]	(10)	
			◎ 植物の育ち方② 葉がふえたころ	・植物の成長の具合を見ながら、「3. こん虫の育ち方」と並行して行う。	[1]	(1)	
		7月 [7]	◎ 植物の育ち方③ 花		[2]	(2)	
	◎ 自由研究			[0]	(1)		
	2学期 [37] (39)	後期 [46] (48)	9月 [8]	6. 動物のすみか	・植物の実際の学習のタイミングと昆虫の観察のタイミングをとらえるのは難しく、ここでは天気や気温に合わせて動物と植物の観察をフレキシブルに入れ替えるといったような構えで学習に向かいたい。一つ一つの単元を順に追っていくのではなく、その日に合わせた観察の学習をしていくとよい。	[4]	(5)
				◎ 植物の育ち方④ 花がさいた後		[4]	(4)
		10月 [11]	8. 太陽の光	・10月後半になると、学習内容に適さない天気や気温となることも少なくない。場合によっては、上記の単元の進捗状況も考えながら早めの学習も考えたい。	[7]	(7)	
			4. ゴムと風の力のはたらき		[7]	(7)	
5. 音のふしぎ				[6]	(6)		
12月 [7]	9. 電気の通り道		[9]	(9)			
3学期 [17] (17)		1月 [5]	10. じしゃくのふしぎ		[8]	(8)	
		2月 [8]			[6]	(6)	
		3月 [4]	11. ものの重さ		[6]	(6)	
			◎ おもちゃショーを開こう!		[3]	(3)	
合計					[86]	(90)	

特徴

3年: 「ものの重さ」の単元は、素材に着目して学習するため、金属・非金属、鉄・鉄でない金属を扱う「電気の通り道」や「じしゃくのふしぎ」の後に学習するようにしています。

## 4年

3学期制	2学期制	月	単元名	留意点	配当時間		
					実質	法定	
1学期 [37] (39)	前期 [50] (53)	4月 [8]	◎ 季節と生物① 春の始まり		[1]	(1)	
			1. 天気と気温	・これらの単元は並行して行い、生育温度に注意しながらツルレイシヤヘチマの種まきを行う。種まき後は暖かい室内で育てる。教室で育苗しにくい場合は、ビニルトンネルなどで防寒対策を施す。あるいは、ペットボトルを半分に切ったものを逆さにかぶせても温室効果がある。 ・ツルレイシヤヘチマの定植は、外の気温が上がってから行う。保温には引き続き注意し、土に黒マルチ(農業用ビニル)を敷いて覆い、穴をあけて植えるとよい。 ・土には追肥を行うと伸びが早い。	[7]	(7)	
		5月 [10]	2. 季節と生物② 春			[7]	(7)
		6月 [11]	3. 電池のはたらき		[8]	(9)	
			4. とじこめた空気や水		[6]	(6)	
		7月 [8]	◎ 季節と生物③ 夏	・学習時期が梅雨明け頃となるため、早い時期に夜間の星の観察方法や記録の仕方を指導しておき、「◎季節と生物③夏」と並行して行いながら、観察に適した日に行うとよい。	[5]	(5)	
	◎ 星や月① 星の明るさや色		[3]		(3)		
	2学期 [41] (44)	後期 [50] (52)	9月 [10]	◎ 自由研究		[0]	(1)
				◎ 自由研究		[0]	(1)
		10月 [12]	◎ 季節と生物④ 夏の終わり		[3]	(3)	
			5. 雨水のゆくえ	・これらの単元は、それぞれの留意点に配慮しながら柔軟に学習計画を立て、並行して行う。 ・「5. 雨水のゆくえ」の空気中に出ていく水(蒸発)の実験は、できるだけ早い時期(気温が下がる前)の天気がよい日に行う。 ・「6. 星や月②月と星の位置の変化」では、月齢を調べ、学校の学習時間に観測できる日を逃さないようにする。 ・「◎季節と生物⑤秋」では、生物の様子は台風や秋雨、気温の低下(降雪)等に左右されるので、状況を見ながら条件のよい日に観察を行う。	[10]	(10)	
6. 星や月② 月と星の位置の変化			[8]		(8)		
◎ 季節と生物⑤ 秋	[3]	(3)					
3学期 [22] (22)		11月 [11]	7. わたしたちの体と運動		[8]	(9)	
		12月 [8]	8. ものの温度と体積		[7]	(8)	
			◎ 星や月③ 冬の星	・冬季の日本海側では、晴れ上がった空はほとんど見られない(見られても短時間)。観察に適した日に星の動きの観察を行うために、「◎星や月③冬の星」と「◎季節と生物⑥冬」を並行して行うとよい。	[2]	(2)	
		1月 [6]	◎ 季節と生物⑥ 冬		[5]	(5)	
2月 [9]	9. もののあたたまり方		[8]	(8)			
3月 [7]	10. すがたを変える水		[8]	(8)			
合計					[100]	(105)	

特徴

4年: 「雨水のゆくえ」の単元に「水の自然蒸発と結露」の学習内容もあります。

北日本地方の気候に合わせて時期を移動した単元

ほかの単元の時期を移動したことによって時期が変わった単元

地域や学校の実態に応じて並行して行うことが考えられる単元

## 5年

3学期制	2学期制	月	単元名	留意点	配当時間		
					実質	法定	
1学期 [32] (38)	前期 [39] (46)	4月 [7]	1. 天気と情報① 天気の変化	・雲の様子を観察は天気と左右されるので、天気を確認しながら、この単元と「2. 生命のつながり①植物の発芽と成長」「3. 生命のつながり②メダカのたんじょう」の単元を並行して行う。 ・どうしても観察が難しい場合は、写真や動画等を活用して対応したい。	[9]	(10)	
		5月 [9]	2. 生命のつながり① 植物の発芽と成長	・実験後のインゲンマメを地植えするタイミングで、受粉・結実で使用するアサガオ(ツルレイシ)の種まきも行う。ツルレイシは日当たりのよい場所を好む。長期間栽培を行う上で、水と肥料の管理が大切である。 ・屋外で花壇やプランター等に種まきをする場合は、ペットボトルを半分に切ったものを逆さにかぶせるなど、保温に気をつける。	[11]	(13)	
		6月 [9]	3. 生命のつながり② メダカのたんじょう	・メダカは遅くとも5月下旬から飼育を始める。 ・ろ過装置等で水が勢いよく循環するものは使用しない。 ・田の泥を入れるなど屋外の飼育環境もあるとよい。メダカの産卵のためには紫外線も有効である。 ・水温保持のために、ヒーターを使用するときもあるが、温度の調整ができるものが望ましい。	[8]	(10)	
		7月 [7]	4. 天気と情報② 台風と防災		[4]	(4)	
			◎ 自由研究		[0]	(1)	
	2学期 [40] (45)	後期 [52] (59)	9月 [9]	5. 生命のつながり③ 植物の実や種子のでき方		[7]	(7)
			10月 [11]	6. 流れる水のはたらきと 土地の変化	・川の観察ができるようであれば、気温が下がって寒くなる前に行くようにする。土山を使った流水の実験など、外で行う観察・実験も寒くなる前に(水を扱うのに冷たすぎない時期に)終えるようにする。	[12]	(14)
			11月 [12]	7. ものとけ方		[12]	(13)
			12月 [8]	8. ふりこの性質		[9]	(10)
			1月 [6]	9. 電磁石の性質		[11]	(12)
3学期 [19] (22)		2月 [8]	10. 生命のつながり④ 人のたんじょう		[8]	(9)	
		3月 [5]	◎ 6年の学習の準備		[0]	(1)	
		合計	[91]	(105)			

特徴

5年：夏休み前に「台風と防災」の単元で防災の学習ができます。

## 6年

3学期制	2学期制	月	単元名	留意点	配当時間			
					実質	法定		
1学期 [37] (42)	前期 [44] (51)	4月 [7]	◎ 私たちの生活と環境 ◎ 学習の準備		[0]	(1)		
		4月 [7]	1. ものの燃え方	・ジャガイモの植え付けの準備は、雪解けと共に行う。露地に植え付ける場合は、芽が出た後に霜が降りるおそれがあるので、天気予報を確認して、霜が降りそうなきは、ビニルトンネルやペットボトルを半分に切ったもので防寒対策を施す。プランターで栽培する場合は、深型のものを使用し、日当たりのよい場所を選んで栽培する。教室に持ち込んで観察するのもも便利である。 ・ハウセンカやインゲンマメ等は、4月末に種まきをする。	[9]	(9)		
		5月 [10]	3. 人やほかの動物の 体のつくりとはたらき		[10]	(12)		
		6月 [12]	2. 植物の体のつくりと はたらき ①日光との関わり	・ジャガイモやハウセンカの成長は天気や気温に大きく左右されるため、これらの単元は状況を見ながら並行して行う。 ・日光とジャガイモの葉のデンプンの関係をとらえる実験は、十分に時間をかけることが必要である。梅雨時は日光が十分当たらないので、柔軟な学習計画を立てておき、できるだけ条件のよい日に実験を行うようにする。	[5]	(5)		
			4. 植物の体のつくりと はたらき ②水との関わり		[5]	(5)		
		7月 [8]	5. 生物と地球環境		[8]	(9)		
			◎ 自由研究		[0]	(1)		
			◎ 自由研究		[0]	(1)		
		9月 [9]	6. 月と太陽	・月齢を予め調べて計画を立て、学校での学習時間に観測できる日を逃さないようにする。	[7]	(8)		
		2学期 [40] (45)	後期 [50] (54)	10月 [11]	8. 土地のつくりと変化	・露頭観察をする場合は、事前に下見を行い、計画を立てるようにする。寒くならない時期に野外での学習活動を終えるようにしたい。流水の実験なども、寒くなる前に(水を扱うのに冷たすぎない時期に)終えるようにする。	[12]	(13)
				11月 [12]	7. 水よう液の性質		[11]	(12)
12月 [8]	9. てこのはたらき				[10]	(11)		
3学期 [17] (18)		1月 [6]	10. 私たちの生活と電気		[10]	(11)		
		2月 [8]						
		3月 [3]	11. かけがえのない 地球環境		[7]	(7)		
合計	[94]	(105)						

特徴

6年：プログラミング教材を使った学習は、6年「私たちの生活と電気」で行います。

北日本地方の気候に合わせて  
時期を移動した単元

ほかの単元の時期を移動したことによって  
時期が変わった単元

地域や学校の実態に応じて  
並行して行うことが考えられる単元